

# 介護現場の声かす

## 高木副大臣 人材確保などで要望書 に党都本部



公明党東京都本部(代表  
高木陽介衆院議員)の「介  
護・医療対策本部」(本部

長高倉良生都議)は6日、  
厚生労働省で高木美智代厚  
労副大臣(公明党)に対し、

介護人材の確保など  
に関する厚労相宛て  
の要望書を手渡し  
た。高木都代表、高  
倉本部長、都議、区  
市議の代表が参加  
した。

党都本部は、超高  
齢社会の重要課題で  
ある介護・医療の充  
実に向け、今年1月  
に対策本部を設置。

(中  
央)に  
高木  
副大  
臣  
高倉  
本長  
部代  
表(左  
端)ら  
6日  
厚労  
省

まずは介護問題に取り組  
うと、4月からの「100万  
人訪問・調査」運動と並行し  
て、都本部所属の全議員が  
介護事業者などへの聞き取  
り調査を行い、現場の声を  
今回の要望書にまとめた。

要望では人材確保に関し  
て、人材の紹介・派遣を行  
う企業に事業者が支払う紹  
介料の高騰などに触れ、公  
的人材バンクの充実ととも  
に、紹介料などの指針を早  
急に策定するよう提案。介  
護職のイメージアップに向  
けた教育の充実や介護報酬  
の引き上げ、事務処理負担  
の軽減なども求めた。

高木副大臣は「どれも身  
に染みている内容だ」とし  
て、検討する考えを示した。